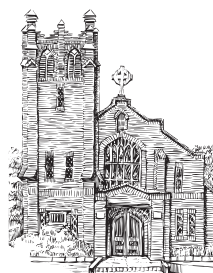


日本聖公会

## 大阪教区報



聖蹟主教会

聖ガブリエル教会

守口聖オーガスティン教会

主教座聖堂 川口基督教会

日本聖公会  
大阪教区総務局

〒545-0053

大阪市阿倍野区  
松崎町2-1-8

TEL 06-6621-2179

FAX 06-6621-3097

osakakoho2022@gmail.com

発行責任者

総務局長 司祭 金山将司

+++++ 第528号 2025年12月20日発行 +++++

## 星の輝きを眺めながら

主教

バルナバ

こばやし さとし  
小林 聡

「闇は光に勝たなかった」  
ヨハネ1…5

救い主のお誕生おめでとう  
ございます。昔、東の国から  
やって来た占星術の学者たち  
は、夜空を見上げ、不思議  
な星に導かれて、救い  
主のもとにやってきまし  
た。そして心から喜びま  
した。星を眺めることが  
出来ること、その星の下  
に救い主を見出すことの  
できる人はなんと幸せな  
ことでしょう。

2022年5月私はベ  
ツレヘムの難民キャンプ  
に泊まり、ガザのYMCA  
に泊まり、その地で繰り返  
される暴力の犠牲となってい  
る方々から宿を提供してい  
たきました。夜通し鳴り響く  
砲弾の音。夜空を見上げれば  
人を傷つける物が降り注いで  
います。夜空を見上げる、あ  
たり前な日常がそこにはあり



ませんでした。今は全員追  
出されてしまったヨルダン川  
西岸のパレスチナ・トウルカ  
レムでは、空から降ってきた  
爆弾で足を負傷した兄のお世  
話を幼い弟がしていたお家に

宿を取らせていただきました。  
星を見上げることがこんな  
にも痛みを伴うことであるこ  
とが心に刻まれました。

大阪聖パウロ教会がお初天  
神にあった頃の聖堂を建築し  
た信徒の岡本新次郎さんは、  
1930年のロンドン軍縮会

議に参加する林歌子（博愛社  
の創設者のひとり）に、軍縮  
ではなく武器の全面廃止の言  
葉を託しました。戦後195  
2年には、かつて京都教区に  
おられ岡本さんと懇意にされ、  
1952年にはアメリカにお  
られたニコルス主教に手紙を  
書き、当時のアメリカ大統領  
に面会する取次ぎを頼まれた  
のでした。趣旨は世界に影響  
力を持つ人に、この地上から  
すべての武器をなくすように、

見上げる空から  
爆弾を落とさな  
いようにと提案  
するためでし  
た。

武器がなくな  
れば、福祉、教  
育、仕事、色ん  
なことが回復さ  
れるというのが  
岡本さんの主張  
でした。わたし  
も同感です。パウロ教会に連  
なる者として岡本さんを誇り  
に思います。

イエス様がお生まれになっ  
た時も、決して軍隊がなかつ  
たわけではなく、威圧的な王  
様もいました。しかし、にも  
かわらず、羊飼いたちや占

星術の学者たちは夜空を見上  
げることができたのです。そ  
れは人を傷つける物ではなく、  
神さまの愛の星がそこに輝き、  
人々を救いへと導いてくれる  
ことを信じるのが出来たか  
らでした。私たちはたとえ武  
器や砲弾の脅威に怯え慄くと  
も、暴力の真つただ中でさえ、  
イエス様という輝きを仰ぎ、  
私たちを平和の器として頂け  
るように祈り、導かれたいと  
思います。闇が光に勝つこと  
はないのですから。

(大阪教区主教)



# 大阪教区婦人会 秋の修養会

ミリアム 岡部 美枝

残暑が未だ続いているのかのような、少し蒸し暑い中で、10月18日(土) 聖ルカ日・秋の修養会が、大阪聖パウロ教会を会場として開催されました。

講師は、社会福祉法人「関西いのちの電話」事務局長柴守昭氏です。

1953年にロンドンの聖公会の牧師が、自殺防止の為に設立され「良きサマリヤ人」の言葉から「サマリタン」という名称で始められました。日本では1971年東京に次いで大阪は2番目1973年开始です。現在は全国50ヶ所にあり、年間60万件の電話を聴いておられます。働きは「傾聴と共感」を柱とし「いのちの大切さ」を伝えていて、24時間365日無償活動の市民ボランティア団体です。過去のテレビ局で取り上げられたビデオやお話を聞かせて頂き、とても大変で大切な仕事だと実感しました。一応ひとり30分の電話を目安とされていますが、1時間以上話される方も居られるそうで、月2回の奉仕とはいえ、頭が下がる映像とお話して

した。出席者96名(内教役者6名、信施金12万3620円は「関西いのちの電話」関西支部にお献けしました。

会場としてご利用頂きました大阪聖パウロ教会は、2025年12月28日(日)の礼拝を最後に、1月1日からは、十三の聖贖主教会と共に礼拝を守ることとなりました。阪神淡路大震災時、壁に亀裂が入り、その後本格的な耐震補修を行わなかったことや自力での再建が無理となったのが理由となり、創立140年の歴史を閉じることとなりました。大阪北区の曾根崎と茶屋



町という繁華街での伝道は95年間でした。交通の便が良いので、旅行や出張の折りに、聖公会の方だけでは無く、他教派の方々がスマホを見て礼拝に出席下さることが度々あった教会です。

大阪聖パウロ教会の建物が失くなるということで、今回思いもかけず多くの方がご出席くださり感謝です。これからは、聖贖主教会と共に「新しい旅立ち」の一步を始めて参ります。(大阪聖パウロ教会信徒)

## 2025年信徒奉事者研修会に参加して

イサク 豊川 雅章

信徒奉事者研修会が、2025年8月17日(日)午後2時より、大阪聖パウロ教会で開催されました。12教会から約30名が出席しました。年々女性の参加者が増えています。今回の主題は「聖堂ウォッチング」です。故小池虔二司祭の講話をまとめられた「聖堂ウォッチング」発行日・1999年9月発行・日本聖公会大阪教区GFS」がテキストとして配布されました。

講師の内田望司祭はいつも礼拝堂は「聖堂と呼びましょう」と教えられます。25年前のこの本にも聖別後は「聖堂」と呼ぶとありました。聖堂の入り口から祭壇まで真ん中通路を「巡礼者の歩道」と呼ばれる理由も話されました。そして今回は、聖器・祭具類の名称を英語で覚えなさいと言われました。祭壇奉仕はオルタートの役割ですが、奉仕の兼務や司式者が週替わりの現状では、司式者の直近にいる信徒奉事者も学びが必要だと思います。

質疑応答の時間は、聖具の取扱いや陪餐時の所作など、質問が信徒奉事者からあふれ出ます。互いに分かち合えるとても貴重な時間です。内田司祭が、繰り返して礼拝奉仕の大切な点を話される研修会の開催意義は、ここにあると思います。夕の礼拝をもって解散いたしました。聖パウロ教会が梅田から移転すると聞きました。改めて聖パウロ教会のご奉仕に感謝いたします。また研修会を企画くださった主教座聖堂参事会の皆様にもお礼申し上げます。(大阪聖愛教会信徒)

日本聖公会 大阪教区婦人会

## 2026年 被献日礼拝

日時：2026年2月2日(月) 10時30分

場所：尼崎聖ステパノ教会

説教者：司祭バルナバ永野拓也

献金先：日本聖公会婦人会(被献日献金)のため

日本聖公会 大阪教区  
尼崎聖ステパノ教会  
〒661-0012  
尼崎市南塚口町7-19-22  
Tel: 06-6427-5320

アクセス  
○阪急電車 神戸線塚口駅下車 徒歩15分  
○阪急電車 神戸線塚口駅下車 阪神バス  
阪神尼崎駅行き 新庄下橋下車 徒歩2分  
○阪神電車 阪神尼崎駅下車 阪神バス  
阪急塚口駅行き 新庄下橋下車 徒歩2分



## 管区人権セミナーに参加して感じたこと

聖職候補生

ヴェロニカ 薦田 久美子  
こみこ

10月7日～9日にかけて横浜教区主教座・横浜聖アンデレ教会を主な会場として開かれた人権セミナーに、参加させていただきました。

難民問題、冤罪事件、京都事件の二次加害についての学びでしたが、難民問題に多めの時間配分で、カトリックの施設「アルペンなんみんセンター」の方々から日本の入管の冷酷な対応についての話を、そして将来の希望を見失って自殺未遂をした男性入所者さんからは、日本に来てからのご自身の凄惨な人生の話しも聞かせていただきました。

個人的に日頃から差別や偏見についての記事や本に目が行きがちなのですが、それらを読んで感じる、やるせなさや憤りを今回の学びの中でも感じました。

なぜこうも想像力に欠ける人が多いのでしょうか。自分にはないと言っているのではありません。ただ3件とも、ほんの少しそこにおられる弱者のことをおもえばかること

ができれば、事態は大きく違つたと思うのです。

また、私たちの視線の届かない場所で、人間扱いをされていない人々が日本にもおられるということを私たちは知るべきですし、知った以上は解決のために協力しなければならぬと思います。このことは聖公会が目指すセーフチャーチの実践でもあり、主イエスは「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」とおっしゃっておられます。

(来年早々にヨハネ教会で狭山事件のDVD上映会と分かち合いをしたいと思います。)

(大阪聖ヨハネ教会・川口基督教会勤務)



## 「聖なる幼子の日」

天にいる子どものための祈りのご案内

本来「聖なる幼子の日」は毎年12月28日ですが、「グリーフの集い」に合わせ、**今年は12月27日(土)に行います**。お間違えのないようご注意ください。

日 時：12月27日(土) 10:00

場 所：守口ぶどうのいえ

対 象：ご遺族、  
ご関係者(医療関係者を含む)

※遺族ケアの観点から、対象をご遺族ご関係者のみに限らせていただいております。

守口ぶどうのいえ

☎06-6992-3307 ✉m.budonoie@gmail.com

## 守口ぶどうのいえ設立20周年感謝礼拝

アグネス 山本 裕子  
ゆうこ

2005年11月4日、『教会の宣教と仕えるための器』として始動した守口ぶどうのいえは設立20周年を迎えました。累計利用者は1万人を超え、神様のぶどうの木は枝もたわわに多くの実をつけています。大阪教区の教会や信徒の皆様をはじめ、全国から寄せられるご寄付と祈りに支えられ、神様の御手の守りによって仕える事を許された20年でした。

2025年10月4日 午後2時 守口聖オーガスティン教会礼拝堂にて、『守口ぶどうのいえ設立20周年感謝礼拝』が捧げられました。元淀川キリスト教病院チャプレンの藤井理恵牧師による記念説教、〈キリストにつながり20年〉を拝聴し、開設からの20年の歩みに思いを巡らしました。全国からお越し下さった来賓の方々、大阪教区の教会内外からの参列者を含め77人の礼拝参加者の感謝の祈りと歌声が守口オーガスティン教会の小さな礼拝堂いっぱい響きわたりました。

京・ぶどうのいえ、また2014に開設された〈京都ぶどうのいえ〉、3つのぶどうの家が一同に会して共に祈る機会を与えられたことも慶ばしい恵みでした。

感謝礼拝後、会館に場所を移し小さな茶話会が催されました。手作りのケーキやクッキーで歓談の時を持ちました。茶話会の中で、守口ぶどうのいえを支えるボランティアの方々に小さなプレゼントをお渡しし、感謝の思いをお伝えしました。改めて本当にたくさんの方々の祈りの手によってこの施設が支えられている事を実感する茶話会と成りました。

守口ぶどうのいえは、ホテルではありません。病院の施設でもありません。ただ神様の御手に守られて、祈りに支えられた場所です。神様の愛の奇蹟が具現する場所なので。神様のぶどうの木に連なる私たちの働きが次の10年も許される事を祈りながら、この20年を誇らしく感謝の祈りを捧げた一日でした。

(守口聖オーガスティン教会信徒・守口ぶどうのいえ理事)

〈守口ぶどうのいえ〉設立のモデルとなった〈東

「奏楽奉仕者の  
つどい」に

## 参加して

ルシア 前田 直子  
まえだ なおこ

9月28日、川口基督教会に於いて、大阪教区礼拝・音楽委員会主催「奏楽奉仕者のつどい Vol.2」が開かれ、高橋明子先生、辻彩乃さんがそれぞれ作成された資料に沿って「教会暦にふさわしい奏楽曲の選び方」というテーマで講義してくださいました。まず辻彩乃さんが、教会暦、礼拝のインテンション、聖書日課を鑑みての聖歌、奏楽曲選曲へのアプローチを解りやすく説明してください、練習よりもそこに至る準備を丁寧に行う事が、より大切であると教えていただきました。また「奏楽は礼拝を支え、礼拝を形成し整える機能を持っている」という一文が資料の中にあり、私はこの事をすっかり心得ておこうと思いました。次に高橋明子先生がその膨大な知識、豊かな見識の中から、前奏曲と後奏曲に絞ってご講義くださいました。時間が短いので



駆け足で、と仰りながらも、資料の中には譜例や、大変参考になる楽譜集もあり、前奏曲の種類、作曲家、時代やその変遷など専門性の高い内容ですべてが興味深く、本当に充実した学びを頂きました。お勧めの楽曲や楽譜(本)も、その購入方法などを含め色々教えていただきました。そして「選曲して練習を始める、その時からすべてが献げ物なのです」という先生の言葉は、奏楽奉仕者として未熟な私にも大変勇気を与えていただけたと感じます。そのあとの分かち合いの時を含め、とても豊かな時間を持てましたことを心から感謝いたします。参加者は25人でした。  
(川口基督教会オルガニスト)

## 連載 杖一つ

## よりみちカフェ

## 始めました

マリア 勝原 純子  
かつはら じゅんこ

「こんにちはようこそいらっしゃいました遠いところをようこそ」こんなごあいさつでカフェのお出迎えが始まります。メンバーは筋向かいのたばこ屋の御婦人から向かいのお宅の御夫婦そして、お隣やその近所の方々 信徒のお友達など皆さまとても楽しみなようで、1時を過ぎると次々に集まっていってしまいます。開催は1時30分ですが、遅刻者ナシ!

はじめにラジオ体操第一、第二をこなし、その後ウエルカムドリンク、そして、今月の季節の唱歌を歌う一通り歌い終わったら、おやつタイムです。おやつは、スタッフの手作りあり、差し入れありその時期に合わせたおやつが並びます。  
カフェのコンセプトは、近所の教会で歌でも歌って仲良くしましょうです。決して、教会色を強調したり、お祈りを強要したりは致しません。

ステパノ教会が南塚口町に越してきて、43年になりますが、バザー以外ではご近所の方々と中々親交も深まらず、私たちもただ、毎週礼拝には来ていますが、ご近所様との御挨拶もそこそこに礼拝堂へ入っていました。

しかし、木村司祭御夫婦が管理牧師をされていた数年間で、ご近所とも気さくにお話でき、この教会で月に一度でもみんなで集まっておしゃべり出来る場を設けてはどうだろう?と言う事で2023年9月に初めて「よりみちカフェ」がスタートしました。ご近所のたばこ屋の御婦人が、カラオケ好きとお聞きし、壁にプロジェクトでカラオケの歌詞を流し、マイクを持って歌います。はじめは教会で演歌なんて歌って良いの??

スタッフ合わせて10人の参加でしたが、最近では15人ほどの人数となっています。毎月通ってこられる御婦人の中にも御主人が先に天国に行かれた方が何故も多く、さみしいと話されていますが、「月に一度のよりみちカフェが楽しみなんです」と、嬉しいことを言ってくださいます。

また、昨年4月より木村司祭から韓司祭ご夫妻に変わりましたが、相変わらず毎月開催出来ています。大きく変わったことは、日本の曲ばかりでなく、韓国の歌も取り入れられた事でしょうか?特に、お誕生日月のかたへ「君は愛されるため生まれた」という曲を皆さんと一緒に歌います。また、鈴木憲二さんのピアノ伴奏の「一人の手」も回を重ねる毎にすばらしいできばえです。

毎月1日だけの催しではありますが、参加者の皆様に喜んで帰っていただけるよう心を尽くしておもてなしをしていきたいと思っています。

皆様もよろしかったら、1日よりみちカフェにいかがですか?

(尼崎聖ステパノ教会信徒)

## 大阪聖パウロ教会140周年と茶屋町の礼拝堂

主教 バルナバ 小林 聡

大阪聖パウロ教会は、今年6月に創立140周年の感謝と喜びの礼拝を守りました。この140年の間、主が導かれ、その時々には宣教の業が示され、多彩な活動をしてまいりました。2025年12月28日の礼拝を最後に、茶屋町での働きを終えることとなります。44年前に曾根崎お初天神から梅田学園英語専門学校と一緒に茶屋町に移りましたが、時の流れと共に生徒数が減少し閉校となりました。その後にはキリスト教関係のNPO、NGO法人の団体が入居され、地の利を得て活発に活動されていきました。

しかし1995年の阪神淡路大震災により、壁の亀裂や雨漏りなどで建物の耐震不足を専門家から指摘されました。入居されている団体に事故でもあれば、との信徒の強い思いもあり、10年前に「パウロプロジェクトチーム」を発足させ、教区内外の方々や専門家と長きに亘り再建方法についての話し合いや相談をした

結果、茶屋町の建物を失くし、2026年1月1日から聖贖主教会に移り、共に礼拝を行うことに決めました。

2026年中に法的な合併が完了し、新たな歩みを始めます。歴史を振り返る時、場所を移動するという機会が、多くの教会や学校、病院、施設等でありました。今私たちはそのことに立ち会った人々の思いに心を馳せ、新しい地での出会いの中にもイエス・キリストがおられることを信じ、歩み出します。どうぞ覚えてお祈りいただけますようお願いいたします。

(大阪聖パウロ教会  
管理牧師・主教)

## 【常置委員】報告

11/13  
第14回  
(定例)

## 1. 主教報告・諮問

○主教予定・報告・宣教方針「教区財政の健全化への取り組み」、「教役者給与の教

区一元化」、「宣教協議会への取り組み」などについて主教の基本方針を共有した。

## ○主教諮問

新三局長その他教役者人事案および顧問弁護士との契約終了について提案がありこれを了承した。ムラリー次期カンタベリー大主教就任に関するGAFCON(グリーバルアングリカン)の声明に関する日本聖公会の立場が示され、これを了承した。

## 2. 諸報告および議事

○中日本宣教協働区委員会の報告を受けた。

○総務局より、①「出張」「休暇」等に係る新たな申請書類の策定と、②「教区墓地規則」の改定の提案があったが、次回以降の委員会において改定後の具体的な条文提出をもって検討・承認することとした。

○教区礼拝準備の進捗について報告がありました。

○財政局より10月度月次決算の報告を受け、承認した。

○東豊中聖ミカエル教会の臨時堅信受領者総会において新園舎建設の議案が承認さ

れた件、川口基督教会での白蟻被害とその対応が検討されている件について報告があった。

○最後に、主教から今期常置委員に対して感謝の言葉があり、委員全員が感想を述べて、主教の祈りをもって今年度常置委員会のすべての議を終えた。 以上

## 【局長】報告

10/23  
第11回

・教区墓地礼拝についての打合せがあった。金山司祭が説教。

・教区事務所職員の休日出勤の発生と休日手当の報告が共有された。

・大阪教区宣教協議会の開催を宣教局で話し合われている。

・教区礼拝の内容について話し合った。

・小学生キャンプ参加費補助を承認した。

・来年以降の宣教の取り組みについて宣教局から情報共有された。

・会計委員懇談会の内容報告を共有した。

・2026年度一般会計予算案について財政局から報告があった。

・宣教局からの予算申請(4件)について精査し承認した。

・9月度決算報告を共有した。

11/20  
第12回

・大宗連 2026年度から議長になる。

・信徒奉事者の推薦書提出をお願いする。提出期限12月14日とする。

・大阪教区宣教協議会を開催することが再確認された。

・教区事務所営業中の玄関扉について防犯の観点から施錠することを承認した。

・戦後80周年記念プログラム第3回目を開催する。

・教区内の諸施設、学校、保育園、幼稚園、病院とのつながりを強化していく。

・定期教区会で2026年度一般会計予算案を議案提出する。

・10月度の決算報告を共有した。





<p>洗 礼</p>	<p>ルカ 大宮 幸慈</p>	<p>大阪聖愛教会</p>
<p>西宮聖ペテロ教会</p>	<p>初 陪 餐</p>	<p>ルカ 石田 美郎</p>
<p>クリストファー 若山 昭人</p>	<p>芦屋聖マルコ教会</p>	<p>恵我之莊聖マタイ教会</p>
<p>クリストファー 若山 昭人</p>	<p>マーガレット パスカル 成岡 眞愛</p>	<p>テレジア 北浦 洋子</p>
<p>堅 信</p>	<p>成岡 眞愛</p>	<p>堺聖テモテ教会</p>
<p>芦屋聖マルコ教会</p>	<p>逝去</p>	<p>サラ 平川トルハルタテイ</p>
<p>テレジア 西村わかな</p>	<p>城南キリスト教会</p>	<p>西宮聖ペテロ教会</p>
<p>ハナナ 渡壁千代子</p>	<p>ハナナ 渡壁千代子</p>	<p>カタリナ 武藤 明子</p>
<p>大阪聖アンデレ教会</p>	<p>ウエスレー 松平 慶基</p>	<p>大阪城南キリスト教会</p>
<p>クリストファー 若山 昭人</p>	<p>逝去</p>	<p>ハンナ 中野香津子</p>
<p>ペテロ 北野 とうしやな 当舎那津希</p>	<p>逝去</p>	<p>ハンナ 中野香津子</p>
<p>クリストファー 若山 昭人</p>	<p>逝去</p>	<p>ハンナ 中野香津子</p>